



うない通信 for 先端型

Vol.2

国立大学法人琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター 2020年3月発行

第3回 琉球大学未来共創フォーラム

「高等教育における女性のリーダーシップ ～津田梅子の後継者育成に学ぶ～」

令和2年2月10日(月) 本学共通教育棟において、津田塾大学の高橋裕子学長を講師にお迎えし、第3回琉球大学未来共創フォーラム「高等教育における女性のリーダーシップ ～津田梅子の後継者育成に学ぶ～」が開催されました。

本フォーラムは、大学の管理運営に携わる教職員を主な対象に、先端型事業における上位職育成研修(FD・SD)と位置付けて、総合企画戦略部地域連携推進課との共催で実施しました。

講演は、女性研究者の上位職登用、女性リーダーの育成をテーマに、津田塾大学の創設者である津田梅子の生涯を通して、海外で学ぶこと、女性のリーダーシップの重要性、そして後継者となる人材の育成について、お話いただきました。

日本の高等教育においていかに女性の上位職が少ないかという点について、男女共同参画白書のデータ等を引用しながら、女性研究者の数は年々増加傾向にあるものの、上位職になるとその数は明らかに少ない現状が説明されました。特に国立大学においては、女子大学を除いて未だ女性の学長が誕生していないとの指摘がありました。高橋学長は、「女性を積極的に上位職に登用し、リーダーを増やしましょう…という話をすると、必ず『上位職に相応しい人材がない』という指摘を受けますが、人材というのはその辺に転がっているものではありません。人材は計画的に育てていく必要があります」と話され、女性の『人材育成』の重要性を強調されました。

また、津田梅子は2度の海外留学の経験によって培われた人的ネットワークを活かして、留学中そして帰国後も積極的に行動し、自分のあとに続く日本の女性のための奨学金制度を設立しており、国境を越えた日本とアメリカの双方向からの支援によって、後継者育成に尽力したことが語られました。この『人材育成』のシステムは、後に長く続くインパクトを残すことに重点がおかれたものであったとして、津田塾大学では津田梅子がロールモデルとなって、卒業生からは歴代学長をはじめ、多くの女性リーダー、様々な「女性初の〇〇」と呼ばれるような方々が誕生しているとのことでした。

リーダーとなる人材育成の重要性、そしてリーダーとなった女性が果たすロールモデルとしての役割とその影響力の大きさについて学ぶとともに、後進に続く人々へのエールをいただいた講演となりました。

講演会には約90名の方が参加され、盛会裏に終了しました。



メンタリングセミナー

令和元年12月25日(水)、本学本部棟第一研修室において、令和元年度メンタリングセミナー「メンタリングとは? ～効果的な協働を目指して～」を開催しました。

本セミナーではメンタリングを基礎から学び、メンター(助言者)やメンティー(相談者)として適切な相談や助言の方法などを習得することを目的に実施し、教職員20名が参加しました。講師に梶原多真季氏(株式会社インソース)をお迎えし、メンタリング(メンター制度)が注目される背景やメンターとしての役割、コミュニケーションにおける基本姿勢、メンティーのキャリアを支援する方法など具体例を示しながら講義が行われました。また、受講者はいくつかのグループに分かれて、「メンターとは」のグループワークや、「聴く」「訊く」スキルを実践するロールプレイングなどを体験し、職場だけではなく日常生活にも生かすことのできるメンタリングについて学びました。(ジェンダー協働推進室 副室長 宮城一葉)



イクボスセミナー

令和2年2月13日(木)、本学本部棟第一研修室において、令和元年度イクボスセミナー「あなたもイクボスになりませんか?」を開催しました。

「イクボス」とは、文字通り「育児に理解のある上司」という意味ですが、育児以外にも職場で相互理解と助け合いが必要とされる場面は多々あります。そして、それは頭でわかっても、具体的に実践するのは色々な意味で難しいものです。

「働きやすい」職場づくりへ向けたそんなコミュニケーションの実践を、株式会社インソースの青木朋博氏による、たいへんわかりやすく、説得力のあるコーチングで学ぶことができました。参加者は男性5名を含む14名で、多くが「ボスとして」というより、健全な人間関係づくりへの興味から参加されていたようです。出産・育児、介護、あるいは病気と向き合う同僚への声のかけ方、サポートの仕方・され方など、職場が「お互い様」と言える働きやすい環境となることによって、チームの信頼や絆も強まり、生産性も高まることを学びました。3時間という時間があまりに短く感じるほど、楽しく、気づきの多いワークショップでした。

(ジェンダー協働推進室 室長 喜納育江)



国際学会派遣+1 Visit

女性研究者の研究力と管理運営能力の向上を支援するため、「国際学会派遣+1 Visit」を実施しました。

本制度は、これまで実施してきた「国際学会派遣費用補助事業」を先端型事業にあわせてアップグレードしたもので、学会参加に加えて国際共同研究の推進や新たな研究ネットワークの構築、教育研究機関等の管理運営に関する先進的な取組の調査を旅程に加えていただき、旅費の一部または全額を支援するものです。

今年度は、国際地域創造学部 講師の金藤多美子先生が採択されました。



オーガナイザー養成支援

リーダーシップを発揮できる人材の育成を目的に、今年度新たに「オーガナイザー養成支援」を設けました。これは、女性教員自らがオーガナイザーとして企画・運営するセミナーやシンポジウムの開催を支援するため、係る費用の一部または全額を補助するものです。

今年度は、教育学部の岡本牧子准教授による「Scratch × 機械学習 in 琉球大学(令和2年2月22日)」、農学部の小西照子教授による「Workshop on Seaweed Polysaccharides -Their Impact on Human Life- (令和2年3月9~10日)」の2件が採択されました。

※残念ながら、3月に予定されていたセミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、開催中止となりました。



ジェンダー協働推進室からのお知らせ

*** 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(先端型)」キックオフ講演会 開催中止について**

令和2年3月6日(金)に開催を予定しご案内しておりました「キックオフ講演会」につきましては、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者・関係者の皆様の健康と安全の確保等について考慮した結果、開催を中止させていただくこととなりました。

皆様にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

*** 先端型HPを開設しました**

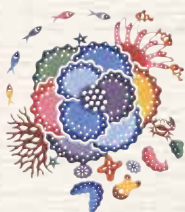
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」HPを開設しました。

先端型に関する情報や取組については、下記URLからご覧ください。



<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>

事業・セミナー等の詳細につきましては、随時ジェンダー協働推進室先端型HPで発信しています。



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室

Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675

E-mail:gender@acs.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/